

2020年度 ⑭キャリア戦略報告

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況(実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
<p>■就職内定率量的向上 98%以上 懸念材料 ①新型コロナウイルスによる新卒採用環境悪化 ②経団連就職協定廃止</p>	<p>【本郷キャンパス 企業就職希望者対象】 ①新型コロナウイルス感染拡大予防措置として学生の学内入構が制限されたため、オンラインでの就職相談、履歴書添削、面接練習を実施した。またオンライン面接を受ける学生からの希望に応じ応接室・会議室を提供した。 ②採用活動の前倒しに対応した新イベントを実施した。・ベネッセキャリア面接対策講座、・2020就活サポートDAY全7回(14社、オンライン企業説明会))</p>		<p>外国語学部 51.6% 経営学部 51.2% 人間学部コミュニケーション社会学科 49.1%、 児童発達学科9.5%、人間福祉学科 27.9%、心理学科38.8% 保健医療技術学部理学療法学科 48.7%、作業療法学科21.1%、臨床検査学科6.7%、看護学科96.4% 10月1日時点の内定率学部学科別記載</p>		<p>外国語学部 82.4% 経営学部 87.4% 人間学部コミュニケーション社会学科 94.2%、 児童発達学科94.8%、人間福祉学科 91.7%、心理学科81.3% 保健医療技術学部理学療法学科97.1%、作業療法学科100%、臨床検査学科92.7%、看護学科100%(2021年3月31日時点)</p>
<p>■就職内定率質的向上 顧客から選ばれる企業内定向上 ①上場企業・関連企業50%以上 ②営業職・総合職就職者比率70%以上(キャリア戦略会議目標数値)</p>	<p>【本郷キャンパス 企業就職希望者対象】 ①②を達成するため、2019年度よりB to B企業を重点的に訪問し、採用担当者とのパイプ作りや学内キャリアイベントへの招聘を行っている。2020年度は新型コロナウイルス禍のため企業訪問の実施が困難であった。</p>		<p>外国語学部 51.6% 経営学部 51.2% 人間学部コミュニケーション社会学科 49.1%、 児童発達学科9.5%、人間福祉学科 27.9%、心理学科38.8% 保健医療技術学部理学療法学科 48.7%、作業療法学科21.1%、臨床検査学科6.7%、看護学科96.4% 10月1日時点の内定率学部学科別記載</p>		<p>①外国語学部 38.1%、経営学部 31.5% 人間学部コミュニケーション社会学科 24.5%、 児童発達学科・人間福祉学科22.2%、心理学科32% ②外国語学部 49%、経営学部 48.1% 人間学部コミュニケーション社会学科 40.8%、 児童発達学科・人間福祉学科88.9%、心理学科62% (2021年3月31日時点)</p>
PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況(実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
<p>■一般企業就職希望者就職内定率時期的向上 10月1日内定率80%以上(前年実績65.3%)</p>	<p>【本郷キャンパス 企業就職希望者対象】 就職希望者の内定獲得時期を早めるため以下の新イベントを実施した。・ベネッセキャリア面接対策講座、・2020就活サポートDAY全7回(14社、オンライン企業説明会)</p>		<p>外国語学部 51.6% 経営学部 51.2% 人間学部コミュニケーション社会学科 49.1%、 児童発達学科9.5%、人間福祉学科 27.9%、心理学科38.8% 保健医療技術学部理学療法学科 48.7%、作業療法学科21.1%、臨床検査学科6.7%、看護学科96.4% 10月1日時点の内定率学部学科別記載</p>		<p>外国語学部 82.4% 経営学部 87.4% 人間学部コミュニケーション社会学科 94.2%、 児童発達学科94.8%、人間福祉学科 91.7%、心理学科81.3% 保健医療技術学部理学療法学科97.1%、作業療法学科100%、臨床検査学科92.7%、看護学科100%(2021年3月31日時点)</p>

<p>■キャリア支援の質的向上Ⅰ キャリアセンター支援施策 就活環境変化への対応 ①新型コロナウイルスによる新卒採用環境悪化 ②経団連就職協定廃止</p>	<p>【本郷キャンパス 企業就職希望者対象】 ①新型コロナウイルス感染拡大予防措置として学生の学内入構が制限されたため、オンラインでの就職相談、履歴書添削、面接練習を実施した。またオンライン面接を受ける学生からの希望に応じ応接室・会議室を提供した。 ②採用活動の前倒しに対応した新イベントを実施した。・ベネッセiキャリア面接対策講座、・2020就活サポートDAY全7回(14社、オンライン企業説明会))</p>		<p>【経営学部】 ・筆記試験の拡充:「SPI試験対策講座」申込人数が前期330名(前年+188名)、後期119名(前年+40名)と、前年に比較して97%増加した。 ・公務員試験対策講座の拡充:今年度より開講した「公務員スタートアップ講座」37名、「公務員教養試験基礎対策講座」37名、「公務員教養試験直前対策講座」12名が受講した。 ・就職環境の変化に対応した支援の拡充:オンラインでのキャリアイベント支援を実施したことにより、対面では実施が困難であったの両方の支援を実施したことにより、ジョブフェアやOBOG就職相談会を開催することができた。 【人間学部】 ・キャリアリーダー学生へのヒヤリング ・定期的な内定状況調査及び個別面談を通じてのヒヤリング 【保健医療技術学部】 ・受験前にキャリアセンターで事前の面接練習、履歴書チェックを行った。 【キャリアセンター】 ①新型コロナウイルス感染予防のため、授業や課外活動がオンライン化された。キャリアセンターでも従来対面で実施してきた個別面談をオンラインや架電に切り替えた。シューカツマスター講座、The B's Wayトモキャリ、OBOG就職相談会、ジョブフェアなど従来対面で実施してきたイベントもオンライン実施に変更し、就活環境変化に対応した。 ②採用活動前倒しに対応するため、初の試みとして2年生対象に「2年生から始める就職講座」を2月に開催した</p>		<p>【経営学部】 ・筆記試験の拡充:今後はこれまで行っていなかった言語分野およびCAB、GAB試験の対策も取り入れる予定である。また受講生にSPI模試受験を受験し、自分の力を客観的に把握するよう薦めたい。 ・公務員試験対策講座の拡充:次年度も3つの講座を開講し、受講生どうしの情報交換の場として、チームス上に受講生専門のチームを作る予定である。 ・就職環境の変化に対応した支援の拡充:対面実施かオンライン実施かについては、大学全体の方針に沿って、学生教職員の感染防止に留意しつつ、次年案を策定している。 【人間学部】 ・3年生向けイベントへの誘致、低学年向け対策講座の実施 ・低学年向けの対策講座の実施、キャリアサブゼミの検討 【キャリアセンター】 ①2022年3月卒の就職活動でも、引き続き合同説明会や採用試験をオンラインで行う企業があると見込まれる。またテレワーク環境下で必要度が高まる「文章で人に情報や要望を分かりやすく伝える力」を、各キャリア支援施策を通じて働きかけていく。 ②引き続きイベント開催時期前倒しの検証、低学年学生への支援策拡充を図る。</p>
<p>■キャリア支援の質的向上Ⅱ キャリア教育科目改善継続実施 アセスメントによる効果測定(実施)共同研究採択 就活環境変化への対応 ①新型コロナウイルスによる新卒採用環境悪化 ②経団連就職協定廃止 ③キャリア教育と内定獲得の実証研究継続</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; 以下の内容をキャリア委員会、教務委員会に提案し教授会承認を得る 2年キャリアデザイン2クラス体制 3年キャリアデザインⅠ(前期)履修者108名(前年18名) 3年キャリアデザインⅡ(後期)履修者45名(前年30名) 4年キャリアデザイン通年履修者9月末内定率97%</p>		<p>&lt;外国語学部&gt; 2年キャリアデザイン2クラス体制 3年キャリアデザインⅠ(前期)履修者108名(前年18名) 3年キャリアデザインⅡ(後期)履修者45名(前年30名) 4年キャリアデザイン通年履修者9月末内定率97% キャリアデザイン半期履修者9月末内定率80% キャリア強化ゼミ履修者9月末内定率100%達成 就職未来研究所全国調査89% ⇒本実績によりキャリア教育科目の改善策推進</p>		<p>&lt;外国語学部&gt; キャリア教育科目改善 ①キャリア科目全クラス複数クラス開講4クラスへ ②キャリア科目名統一⇒キャリアデザインⅠⅡⅢⅣへ ③キャリア科目配置転換⇒流動可能性高める ④インターンシップ科目1年次より履修可へ</p>
<p>■インターンシップ質的・量的向上 ①新型コロナウイルスによる実施減少 ②経団連就職協定廃止による環境変化</p>	<p>COVID-19による影響を鑑みながら連携企業と情報交換し、実施に向け準備する</p>		<p>夏期インターンシップCOVID-19の影響により実施なし 春期に関しては、亀川副学長のご紹介により学部横断のインターンシップを検討</p>		<p>&lt;国内&gt; 旅工房PBL型インターンシップ実施(外国語14名) コプラムハウス就業体験型インターンシップ(経営1名)、ドローン大学就業体験型インターンシップ(経営3名) &lt;海外&gt; JTBカナダ・オンラインインターンシップ(外国語3名)</p>

2021年度 ⑭キャリア戦略

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
<p>■就職内定率量的向上 98%以上 ■実就職率改善</p>					
<p>■就職内定率質的向上 顧客から選ばれる企業内定向上 ①上場企業・関連企業50%以上 (キャリア戦略会議目標数値)</p>					
<p>■一般企業就職希望者就職内定率時期的向上 10月1日内定率80%以上(前年実績65.3%)</p>					
<p>■キャリア支援の質的向上 I キャリアセンター支援施策 就活環境変化への対応 ①外国語学部冬季模擬面接会協働支援策計画・実施</p> <p>【人間学部】 ・3年生向けイベントへの誘致、低学年向け対策講座の実施、プログラムの見直しを行い、ブラッシュアップを図る ・キャリアサブゼミの検討、学生相談室との情報の共有化の検討、ただし、来談内容の秘密保持との整合性の検討</p> <p>【保健医療技術学部】 ・キャリアセンターで病院・施設見学時の見学のしかた、履歴書の書き方、面接の受け方を指導する。</p> <p>②目的:「改革総合支援事業」採択 目標:「学修成果について産業界との協議」実施 手段:「本学に特化した企業、関係機関・団体へのヒアリング」実施 内容: I 企業等が学生に求める能力 II 採用時にどのような情報を必要としているか 期限:前期中 ③目的:同上 目標:「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」 期限:前期中</p>					
<p>■キャリア支援の質的向上 II キャリア教育科目改善継続実施 アセスメントによる効果測定(実施)共同研究採択 就活環境変化への対応 ①外国語学部冬季模擬面接会協働支援策計画・実施</p>					
<p>■インターンシップ質的・量的向上</p>					